

美 唄

よい歯のコンクール

6月3日(金)美唄市で「よい歯のコンクール」が開催されました。対象は3歳児健診でう蝕なしと診断された子供達34人でした。審査員は私と宝崎会長と衛生士さん2人の4人。一次審査で10人に絞り込み、再審査して最優秀賞1名、優秀賞2名を決定しました。例年のことながら最優秀賞、優秀賞受賞者とも母親の方の歯が芳しくなくて「母と子のよい歯のコンクール・全道大会」への出場者はいませんでした。

毎年なのですが、この審査は本当に辛いものです。むし歯のない子ばかりなのですから、当然あとはアラ探しの世界となるのです。その中でも

特に心苦しいのが受診態度、あのものものしい雰囲気
のなか堂々として礼儀正しくお口を開けてい
られる3歳児がいること自体驚きの世界。当然の
ことながら口腔内状態がすばらしくても大泣きし
て落選してしまった子供が数人いました（お母さ
んごめんね）。それともう一つ、シーラントが減点
の対象となっていることです。しかもそれが私の
診療所でやったものだったので、なんとも申し訳
ない辛い気持ちになったことは言うまでもありま
せん。

（吉村裕美子記）

